



## 麻布学園

麻布  
布  
高  
中  
学  
校

麻布は歴史のある街だ。町名は変遷し、建物は解体され、人もまた入れ替わるが、変わらないものがたしかに存在する。それは物質的なものではなくむしろ目に見えない精神的なものになるだろう。

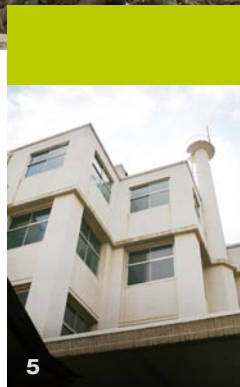
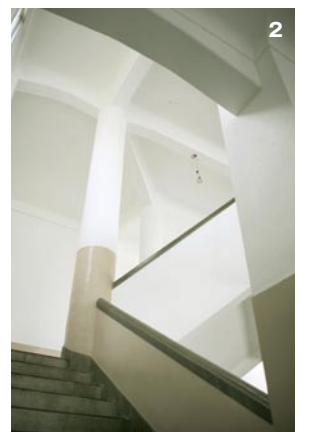
今回紹介する麻布学園もそのひとつであり、日本でも最先端で変化してゆく街の中でその教育の歴史を着実に積み重ねている。

元麻布の高台にある本校は、その名を進学有名校の「御三家」として誰でも知っているものの、住民でなければ見過ごしてしまうほど小さな正門を高級住宅街にむかって開いている。

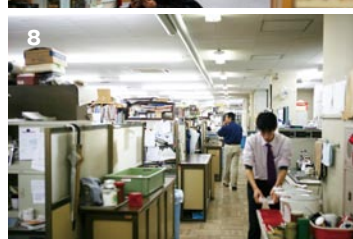
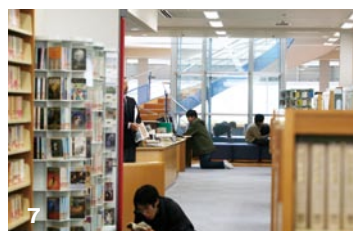
かいま見える建物はごく一般的な校舎であるが、戊辰戦争で九死に一生を得た幕臣であり、政治家としても活躍した江原素六が明治28年に創立した歴史がある。奥へ進むとこれを証明するように、震災後昭和7年に竣工した、いまとなってはむしろ古めかしい校舎があらわれる。一瞬古い映画の一場面に迷い込んだ錯覚を起こすが、その背景にそびえる六本木ヒルズや通り過ぎる生徒によって現実に連れ戻される。

中高一貫教育のため、教員は6年間長い目を持って見守ることができ、生徒も高校受験に煩わされず自己を発展させることができる。自主性を尊重されるのは伝統であるが、12歳から18歳という幅広く多感な時期にひとつの場所で過ごすため、先輩を尊敬し目標とする現代では得がたい環境もまた存在する。

選ばれた生徒たちゆえ、卒業生は社会の中核になう職業についているが、校内で出会うその様子は屈託のない現代の若者である。服装は自由であり、図書館では寝転がることもできる。休み時間には大音量で音楽に乗り舞踏する。つまり自由があるのだが、それは教育者の生徒に対する信頼があればこそであり、むしろそこに伝統の力を見ることができるのである。



- 1 桜の巨木
- 2 幾何学的な構成は当時の最先端
- 3 廊下はそのまま
- 4 配線にも職人技が光る。
- 5 典型的な近代美
- 6 通りからは想像できない広さの校庭
- 7 現代建築としても質の高い図書館は生徒にとっても使い勝手が良い
- 8 教員室はいずれも同じ
- 9 弁当が基本だが食堂もつかえる。当たり前だが安い。
- 10 昭和7年築の校舎



(取材・文/高橋 光)

# 麻布びと



「三味線の音が体にしみ込まないとだめなんです」  
長唄 杵屋勝会理事長 七代目家元 杵屋勝三郎 坂口守男さん



体の一部のように三味線が馴染む坂口さん

アートスポットとして芸術の街へと変貌した六本木。しかし芸術は視覚芸術だけではない。日本が世界へ誇る伝統芸能もそのひとつだ。多彩なエンターテインメントが溢れる中で、長唄のすばらしい技術と表現を六本木で伝承している坂口守男さん(81歳)。1940年に長唄の家元を襲名した時は慶応ボーイだった。長唄の三味線中でも華やかな演奏といわれている杵勝会の現理事長で七代目家元杵屋勝三郎である。

## 麻布に根付く伝統芸能

飯倉のロシア大使館の前にあった家で生まれました。だから麻布小学校。よく言うでしょ。芸事は6歳の6月6日から始めるといって。数えの6つで始めました。当時は母(註1)が教えていたけれど、自分のうちじゃだめだと…。人様のうちに行くところとちゃんと礼儀を覚えるでしょ。だから毎日市電に乗って水天宮まで習いに通った。休みは日曜日だけ。当時は母よりもついている女中さんが怖くてね。学校から帰るとうちにもあがらないで靴を取られて。子供だからそんなに長く稽古はやらないんですよ。15分から20分。そのために毎日毎日。それが14、5まで続きましたね。でも中学生になると女中さんが来ないからさぼるでしょ。そうすると「お宅の息子さんどこか具合悪いの?」って電話があつてばれちゃった。今度は行ったら判子を押し来て…。出席簿だね。そうすると今度はどこからか判子買っちゃって(笑)。でも三味線やバイオリンもピアノもやっぱり小さいときからやったほうがいい。音が体にしみ込まないとだめだから。

日本伝統音楽「長唄」は17世紀前半から三味線音楽として発祥し、歌舞伎の劇場音楽として発展した。現在でも歌舞伎の黒御簾で演奏しているのは長唄。幕末から明治にかけ歌舞伎を離れた長唄演奏が盛んになる。好奇心旺盛な守男少年は遊んで稽古をさぼりながらも、三味線音楽を体にしみ込ませていく。そして旧制中学から慶応義塾へ進学。

戦争が始まって、もう世の中どうなるかわからないから名前だけでも「杵屋勝三郎」になれと言われて16歳で継ぎました。そのうち音楽なんてやっていると反戦だと言われ、そこから戦後2、3年だめでしたね。でも三味線はうちで持ちましたよ。予科3年の時に終戦。経済学部の日吉校舎は敗戦で米軍に接収されて、三田の校舎は半分空襲で焼けたからね、授業なんてほとんどやるところがないんだ。だから大学出られたのよ

(笑)。僕らは旧制のいちばん最後で一年上から兵隊に行つて、ちょうど助かった。紙一重だよ。空襲で演奏する会場が歌舞伎座をはじめ全部焼けちゃった。母と二人暮らしで食べ物がない。一週間に一度千葉とかに買出しに行くのだけど、田舎に知り合いもないでしょ。しばらくは食べるのが先だった。

戦後やっと舞台上でできるようになったのは25、6年じゃないかなあ。29歳の時に遠い親戚の踊りのお師匠さんから欧米へ行く話があつてね、1年間海外興行に出たんですよ。

この海外興行こそが、戦後間もなく本格的な日本舞踊と三味線音楽がグループではじめて海を渡り世界の檣舞台に立った、あの「アヅマカブキ」(註2)の公演である。欧米十数カ国、四十数都市で公演を開催し、大好評を得る。守男さんは最年少のメンバーだった。

三味線、踊り、衣装さんやかつらやさんで総勢34、5人じゃないかな。独身は僕だけだった。外貨の持ち出しは500ドル以下と制限されていたから向こうでもらったギャラで生活しなくちゃいけない。飛行機だってプロペラだからね。5時間飛んでは給油して…。やっとイタリアのミラノに着いてジェノワという港町の郊外で、当時まだ開催されて間もない「サンレモ音楽祭」に出た。これを皮切りにヨーロッパを各地回ったの。サンレモからコートダジュール、ドイツのライン川越えてハンブルグ、デンマークのコペンハーゲン、ストックホルム、イギリスのエジンバラ、それからロンドン。コベント・ガーデン王立歌劇場(註3)で2ヶ月やってドーバー海峡を連絡船で渡って汽車でパリへ。パリでまた2ヶ月。オランダ、アムステルダム。夜8時から開演で11時に終わるでしょ。1時に寝て昼間は観光してね。そこからアメリカに移動してニューヨークのメトロポリタン。バス



で36州回ったんですよ。ロスなんて日系人がたくさんいてお弟子さんまでいたんだもの。日本食いただいて楽しかったねえ。独り者だしお金なんてなくても平気なんだよね。サンフランシスコ、そしてバンクーバー。そこで解散。

この公演は国際的に有名な興行プロデューサーのソル・ヒューロック氏が手掛けたものだ。ヒューロック氏は、彼に見込まれたら一流の芸と言われたアメリカの大興行主である。初めて海を渡った日本の伝統芸能は期待通り世界各地で音楽、舞踏ともに大絶賛されたのである。

僕が海外に行ってる間はおふくろひとり教えていました。帰って来たら六本木3丁目のバラックみたいなところに住んでいたのにきれいな2階建てが建っていた。僕がいたら建たなかったんじゃないかなあ(笑)。劇場も復活してすぐ演奏会を始めましたよ。だけど30の頃なんて遊んでいたねえ(笑)。慶応の友達が全国にいるでしょ。しょっちゅう旅行してましたね。結婚は37歳。息子も6歳の6月6日からよそで習い始めて…。高校はラグビーに熱中していたけど、あまり心配はしませんでしたね。三味線は弾けるようになっていたし、ほら、自分もいろんなことやってたから。いろんなことを経験して人間的な厚みが増すというか、そのほうがいいんじゃないですか。学生の頃は青春楽しめて。今息子(註4)も案外気長に教えているけど、その点僕はだめだね(笑)。もともと家元制度とかあまり好きじゃなかったんだ。封建的でしょ。だから昭和42年に財団法人にしたんです。そのほうがオープンでいいじゃないですか。

ずっとこの辺だから麻布小学校の同級生たくさんいますよ。今も年に1回同窓会やっていますよ。昼飯食べて写真撮って。僕は今も月に1回葉山の海岸に行くんだ。海って大好きなんだよね。いいじゃない、広々として。あちこち出て行くのが好きだね。生まれ変わったら?…船で世界中回って見てみたいかなあ。朝起きてご飯食べて毎日同じことしてたらおかしくなっちゃうよ。人間好奇心がなくちゃ…好奇心なくなったら命あっても終わりだよ。

偶然にもこのインタビューの後、NHKで芸の真髄シリーズの第2回として「長唄～伝える心受け継ぐ力 杵屋勝三郎 杵屋勝国」という番組が放送され、画面で見てもその迫力は素晴らしい。伝統芸能長唄三味線の名跡を継ぐということの重責はいかほどか…。しかも戦局の厳しい中、慶応ボーイとして青春を謳歌しながらである。その後母の財団法人化など伝統の世界に新しいことを取り入れ現在のお弟子さんは世界中に何千人にもなる。粋でいなせな江戸っ子はすごいことをさらっとやるからカッコいい。無趣味な頭には馴染みが薄いけど、三味線の音が心地いいのはやはり日本人のDNAか。家元の好奇心と行動力を見習い、もっと気楽に伝統芸能に触れてみたいと思った。自らの文化はこんなにも誇らしい。

(註1) 3代目勝三郎の長女で六代目。父は歌舞伎俳優の三代目市村亀蔵。父は守男少年が9歳の時に亡くなる

(註2) 日本舞踊家の吾妻徳徳が主宰

(註3) ロイヤル・オペラハウス

(註4) 杵屋清治郎

# 寒くても、おそと大好きBabyと 楽しくおさんぽしましょう!



**情報 A**  
●「飯倉学童クラブ」のイベント案内  
つぼみちゃんあそぼう  
(乳幼児向けプログラム)  
毎週月・金曜日  
11:00 ~ 11:50  
親子体操 10:30 ~ 11:30  
お問い合わせ  
電話 / 03-3583-6355

**情報 B**  
●「子育てひろば あっぴい麻布」の案内  
開設時間: 10:00 ~ 18:00  
対象: 港区在住の  
0歳~3歳の乳幼児と保護者  
利用方法 / 事前登録が必要  
お問い合わせ  
電話 / 03-5114-9900



お願い  
この場所は子供たちがお弁当を  
食べる場所となっています。  
犬のつれこみはご遠慮下さい。  
Attention  
Children eat lunch here,  
so please do not bring  
your dog into this area.  
麻布地区総合支所

前回に続き「あざぶさんぽ」はベビーカー散策、赤羽橋駅近くの「飯倉学童クラブ」からスタートです①。新しく清潔感にあふれた建物で、入口の開閉はインターフォンで行うというセキュリティの高い施設。まだ寒い午前中は3階の乳児ルームで親子のつどいに参加するなどして体を温めておきましょう(情報 A)。昼間ほかほか陽気になったら、すぐ目の前の飯倉公園でお外遊びもできます。「子供がお弁当を食べる場所です」との看板も設置されているこの公園なら、ランチも安心していただけますね②。

いっぱい遊んだタタタさんもベビーカーに乗って、さあ散策に出発! 東京タワーを背に、東麻布商店街に向かきましょう。どこか懐かしさを感じるこの商店街、昔からなじみだったかのようにお店の方と話しながらお買い物できます③。特にロシア大使館近くという土地柄、「初音通り」の八百屋さんでは、ポルシチに使う「ピーツ」を格安で売っており、料理方法

で教えてください④。「いーすと通り」の雑貨屋さんで蓋つきのボトルを買えば、ピーツのピクルスもできますね!⑤

お買い物を楽しんだ後は住宅地を狸穴公園方面に進み⑥、公園近くのカフェでひと休み。オリーブの木と蛙さんの池が目印のこのカフェなら、広い洗面所でオムツ替えもしやすく、子連れでも安心して入ることができます⑦。

おやつが済んだ頃はもう外は寒空、毛布などで暖かくして公園脇を進み、木々の息吹を感じながら麻布十番まで歩きましょう⑧。麻布図書館の先を左に曲がると12月に開設されたばかりの「子育てひろば あっぴい麻布」(情報 B)があります。自由に遊べる「ひろばコーナー」なら、寒い夕方でも思いっきり体を動かせるから赤ちゃんも大満足ですね。「子育てひろば あっぴい麻布」は遊び場のほか、子育て相談やサークル活動、講座などのイベントもあり、これから注目したいスポットです。



(取材/尾崎恭彦、石山恒子、鈴木敏江 写真/鈴木敏江)

住宅火災から尊い命を守るため、住宅用火災報知機の設置をお願いします。  
(防災管理係長: 片岡さん)



## 子どもに生きていく力を

親子で読んでみよう

# KIDS' ハローワーク

今回は東京消防庁麻布消防署のはしご隊員小岩消防副士長と片岡防火管理係長に、ジュニア編集員・鈴木大智くん(6歳)とうかがって、まとめてみました。

大智くんは、消防士さんを「よくわからないけど消防車はかっこいいなあ!」と思っていました。

### 消防官とはどういうお仕事ですか?

小岩消防副士長さん(以下敬称略): 大きく分けると3本柱で、災害活動・救急救命活動・火災予防活動となります。私はその中でも災害現場で被害を最小限に食い止める消防部隊です。消防部隊にもポンプ隊・はしご隊・救急隊・特別救助隊・指揮隊などの役割があり、私は「はしご隊」のメンバーです。

消防官の1日の勤務形態は、2種類あります。交代制勤務と毎日勤務とあって、はしご隊は交代制勤務です。勤務時間は8時30分に出勤してから、翌朝の8時40分までの24時間10分



現場で常に万全の活動ができるよう、日々の訓練は毎日行ないます。

世の中にはいろいろな仕事があります  
**公務員 消防官**  
チームの総合力と使命感で、地域を災害から守る



実際に制服を着てみた大智くん。約20キロの憧れの制服は重かった!

予防課片岡防火管理係長: 私がこの仕事を選んだ理由は就職活動の際に対応して下さった方の人柄に触れ、こんな職場であればというような理由ですが、消防官の仕事というのは、人とのコミュニケーションが大事です。こと現場では特にチームワークが重要で、訓練を積み重ねた個人の力が結集してこそ災害への最善な対応が可能となるわけです。まずは採用試験を受け、採用後消防学校で学び、卒業後はまずは現場を経験、更にさまざまな部署を経験後、自ら内部資格取得を目指しながら、希望する部署へと進みます。

### 消防官を目指す後輩へ...

消防官の仕事は体が資本です。実際には訓練を通じて本来の活動の体力が養われます。消防官に憧れる男の子は今わんぱく位がちょうどいいですね。

麻布十番の3月チャレンジデーや11月の麻布フェスタでは、消防官体験できますよ。興味のある方は麻布消防少年団を募集中ですのでお問合せください。

\*麻布消防署 防災係 03-3470-0119  
\*小学校3年生から中学校3年生までの男女  
消防官採用案内詳細は <http://www.tfd.metro.tokyo.jp/hp-jinjika/guide2008/index.html>

取材よりもやはり気になるのは訓練の様子やはしご車かも。やんちゃな顔つきは資格十分!実際に防火服も着用してすっかり消防少年団の一員となった大智くん。まずは正式に加入からはじめようかな...

(取材/鈴木敏江、鈴木大智、伊藤志織、大村公美子、石山恒子 文/石山恒子)

フィンランド共和国

面積：33.8 平方キロメートル (日本よりやや小さい)

人口：約 530 万人 (2007 年)

首都：ヘルシンキ (約 57 万人、2007 年)

言語：フィンランド語、スウェーデン語 (全人口の約 5.5%) (2007 年)

宗教：福音ルーテル教 (国教)、フィンランド正教

政体：共和制

元首：タルヤ・ハロネン大統領

(2000 年 3 月就任、2006 年 3 月再任、任期 6 年) (女性)

議会：一院制 (任期 4 年) 200 議席

外務省ウェブサイト

http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/finland/data.html より

取材協力/フィンランド共和国大使館



フィンランド共和国

麻布の"世界"から



# Finland

教育と先端技術で  
世界トップレベルの国際競争力を誇る  
ムーミンとサンタクロースの国フィンランド

フィンランドの人口が日本のわずか約 25 分の 1 であることをご存知だろうか? 国土こそ日本よりやや小さいだけだが、その大半が寒冷な気候であり、決して恵まれた環境とは言えない。それでいて国際競争力世界一、IT 技術力世界一、そして教育と福祉でもトップレベルを誇り、各国からの評価は日本よりはるかに高い。ムーミンとサンタクロースで知られる北欧の国の不思議を、ヨルマ・ユリーニ フィンランド共和国特命全権大使に伺った。

まず国際競争力についてお尋ねすると、成功の鍵が教育、技術開発への投資、規制の少ない環境、開かれた市場、そして充実した社会福祉にあると大使は挙げられた。開かれた市場の例で言えば、世界で携帯電話のシェア約 40% 近くを占めるノキアは、実はその部品の多くを自国での生産ではなく、輸入で賄っている。規制が少ない自由な環境の中で活発な経済活動を促す仕組みは、高い国際競争力に大きく貢献している。

最初に大使が挙げられた教育は、フィンランドの成功の全ての源だ。授業時間は日本よりずっと少ないのに、指導者教育の徹底、経済と同様に行政からの規制が少ないこと、現場への大幅な権限移譲、そして問題解決能力を重視したインタラクティブで自由な指導法などにより、世界最高水準を維持している。教育問題に長らく苦しむ我が国が見習いたいポイントが沢山ある。もちろん大学も世界トップレベル。しかも教育費はすべてタダである。タダとなると知りたくなるのは税金だ。所得税は平均 30-40% (最高約 55%)、消費税は標準 22% と低くない。その中でも書籍の消費税が 8% と抑えられているのは教育大国のフィンランドに象徴的だ。税金が高くて世界でトップの教育と福祉、そして国際競争率が達成できるのなら、誰もがこの国に学ぼうとするのは当然だろう。

フィンランドのスーパースター「ムーミン」についても伺った。ご存知のとおり、妖精ムーミンとその家族や友人を描いた物語で、トーヴェ・ヤンソン (Tove Jansson 1914-2001) によって書かれた小説がオリジナルである。実は「ムーミン・フィロソフィー (哲学)」が日本の大学でも教えられているが、友情、寛容、平和等、人と人との間にある大切な考え方、つまり人

の哲学が書かれているのだと大使が教えてくださいました。確かに記憶に残るムーミンには、難しいセリフやエピソードもあった。子供たちがムーミンを読むことにより、人の気持ちを察したり、ことの成り行きや問題についてどうしたよいかを考える、そして考えること自体を学んでいく。だからムーミンは今も世界中で愛されているのだろう。

大使にお目にかかったお部屋には、モダンにデザインされたガラスアートが配され、壁にも素晴らしい絵が掛けられていた。カーテンや家具のテイストもワンランク上だ。フィンランドはデザイン教育にも力を注いでいる。有名な建築家アルヴァール・アールト (Alvar Aalto 1898-1976) は、建築から家具、ガラスの器などまで広範囲にデザインを展開した。世界的規模で事業展開しているリビング・ウェアブランドのイッタラ (iittala) も、先月銀座に日本初の路面店をオープンした。

日本に着任して 4 年目を迎えられるユリーニ大使は、清潔で安全そして国際色豊かな麻布の町がお気に入りだ。さまざまなレストランが楽しめるのも魅力とのこと。人の数に違いはあるが、首都ヘルシンキに似ているところも多いという。遠い国と感じていたが、直行便を使えばたったの 9 時間半で 2 つの国は結ばれている。北欧の国の中では日本人観光客が最も多いらしい。「ちょっと週末にオーロラ見学と上質のアートに触れる旅を」なんていうのもすてきだ。

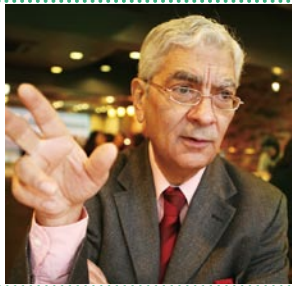
(取材/尾崎恭彦、事務局・武田優美、加藤智恵、森 明文/加藤智恵、森 明)



- ① 国旗にある十字の青は湖を、白は雪の白さを象徴している。フィンランドは湖が多くあることでも有名。
- ② ヨルマ・ユリーニ特命全権大使。麻布は首都ヘルシンキと似たところがあるようだ。
- ③ 大使館の門にもあるフィンランドの紋章。冠をつけ、後ろ足で立ち上がった黄金の獅子が赤地に描かれている。
- ④ サンタクロースとトナカイ。わらでつくられたトナカイは、角と尻尾がかわいらしく編まれている。フィンランドらしい工芸品。

# Azabu-nista

麻布で働く外国人レポート



Professor of Global Security Research Institute, Keio University

Dr. Aftab Seth

## 世界に目を向け、異なる考えを理解する

六本木に住んでいます。

日本に来たのは、1962年にデリー大学と慶応義塾大学の交換留学生となったのがきっかけです。大学では歴史と政治学と日本語を学びました。1964年にデリー大学を首席で卒業し、1967年にはオックスフォード大学の大学院を卒業しました。その後はインド外務省に入省し、バイルト、キプロス、カイロ、ハンブルグ、ジャカルタ、カラチなどに赴任しました。また、駐ギリシア、ベトナム、日本、ミクロネシア連邦のインド大使になりました。

現在は、慶応義塾大学のグローバルセキュリティ研究所の教授です。大学では、学生に国際関係学を教えています。一クラスの学生数は約50人、日本の学生と留学生が同じぐらいの割合です。授業はすべて英語です。日本にいるアフガニスタン、トルコ、イラン、ロシアなどの大使をゲストスピーカーに呼んで、外交や政治、日本との関係などを話してもらうことがあります。また、学生にレポートを書かせたり、発表をさせたりすることもあります。外国の大学との連携も積極的に行っています。

日本のよいところは、環境に配慮した技術があることです。特に、エネルギーを効率よく使用し、環境に負荷のかからない技術は、途上国も導入したいと思っています。

ます。電気自動車や太陽光発電などをはじめ、この技術があれば、世界の留学生が日本に学びに来ることを期待できます。

日本の皆さんにお伝えしたいのは、世界に目を向けてくださいということです。国際化とは外国語の習得にとどまらず、異なる考えを理解することだと思います。インドでは、多くの人が英語を話します。生まれてから一度もインドを出たことのない人でも話せます。彼らは、国内にいるインド人から外国語を学んだのです。

休日には、港区内のスイミングプールで泳いだり、散歩をしたりします。好きな散歩のコースは、六本木の全日空ホテルから泉ガーデン裏へ続く並木道や、麻布十番からオーストリア大使館脇の住宅街へ続く道です。時間のある時は、有栖川宮記念公園まで足をのびします。食べ物では、うどんや鍋物を気に入っています。

今、港区に住んでいるインドの子供が学べるような学校を作りたいと思っています。そこをインターナショナルスクールにして、日本の子供も学べるようにします。港区内で使われていない学校施設などを探しています。

(取材・文/伊藤志織)

慶応義塾大学  
グローバルセキュリティ研究所  
アフターセット教授



## Kちゃん介護ノート

4

### どうしてよいか分からない……

お家(うち)で介護していて、まだ介護認定を受けていない方が大勢いらっしゃると思うので、Kちゃんの今までに歩んできた道のりについてお話するわね。

はじめは、ともかく家族の力で頑張ってKちゃんのお世話をしていたのだけれど、段々自分たちの力では何とも難しく感じる時が来たの。そこで、介護認定を受けようと思ったのだけれど、まず初めにどうしてよいか分からない……。それと、介護のお手伝いをして頂くとなると、ケア・マネージャーさんや又、訪問医の先生がお家に入ってくると想像したら、やはりお家は狭いし、片付かないし何か恥ずかしくて、なかなか踏み切りがつきにくかったの。

でも、考えたの。お風呂に入るとか普通の生活がKちゃん自分自身でするのが難しくなったら、お家が片付いていないなどと言うことより、Kちゃんの今ある状態を、今ある力を維持することが何にもまして大切と思ったの。その方があとあとまで本人も元気でいられるし、結局元気なら家族も楽なのよ。このように考えて、まずこの壁を乗り越えたの。

それから、始めに港区役所に行き、行き着いたのが2階の高齢者支援課介護認定係で、どうしたら良いかお尋ねしたの。お医者さんの診断書があるのことで、近所のクリニックに行き日頃の状態をお話し、Kちゃんを診て頂いたの。今は残念ながら介護認定5になっちゃったけれども、初めは要介護

2だったの。まず初めだからそんなに重くないって、嬉しかったわ。ケア・マネージャーさんを選ぶについて、私達の生活の仕方と介護の方針に理解を持ってくれるケア・マネージャーさんに会えるまで頑張って探さなくちゃ。うまく一回で良い方を見つけたの。それから、病気の診察をして下さる訪問医の先生を運よく紹介していただいたの。

人間って、生まれる時はみんな同じだって言われるけれど、その後の生き方はみんな違っているの。介護、支援と一口で言うけれど、一人ひとり内容は異なっていて当たり前なの。だから、介護認定を受けたら何かをしてくれるのでなく、違いを考え、いろいろ考えて下さるケア・マネージャーさんと、各自の生き方に合わせて支援内容を良く相談しながら決めたいのよ。

お料理とか、お掃除などのように生活支援をして頂く場合もある。お医者さんの指示で理学療法士(PT)さんによって生活機能を支える筋肉の維持を中心に、又それぞれ必要な治療と筋肉の力の低下を予防する方法も考えてもらえるの。さらに、箸を持つとか、歩くとか、ある作業が維持できるように考えて下さる作業療法士(OT)さんもいるし、言葉が段々出なくなるのを予防等のために言語聴覚士(ST)さんもいる。Kちゃんの入浴介助、胃から直接栄養を取る胃瘻(PEG)と身体の看護等を管理して下さる訪問看護師さんなどをもお願いし、更に

Kちゃんを見て下さるデイ・ケアに行くことも出来るの。それに、床ずれ防止マット等の介護用具をレンタルしてくれる会社もあるし、まだまだ色々なメニューがあるわ。それらを上手に利用して、普通の人の同じ生活機能を維持することに力を注いでいたら、本人が楽しく生活ができると思うの。家族が頑張っていると係わって下さる方々も色々工夫して頂けるわ。

Kちゃんの介護って大変で、辛く、悲しい時も沢山あるけど、限界だと思ったらそこまでになってしまうの。だから、その壁を破るためにも公的介護保険制度を利用し、Kちゃんの介護もいろいろな方々にお世話になっているの。介護の方法も介護する人の生活を、健康を、ストレスをためないように、又こわさないようにバランスしなくてはと経験的に言えるわ。特に、デイ・ケアに行っている時は、少しだけ自分の時間が持てるのでほんと出来るのよ。

いろいろ心がけても衰えは待ってくれず、今、Kちゃんがトイレに行くのも2人がかりだし、食事も大変なの。でも、孤独を感じさせないように声を掛けると嬉しそうだし、皆さんの支援のお陰様で、Kちゃんが愛(いと)おいしい、可愛いと思っていられるので感謝していますの。皆さん、日頃色々有難うございます。

今は、麻布地区総合支所くらし応援課保健福祉係でもご相談できるのよ。

(M)



外壁とツタ 夕陽に染まる教会堂

安藤記念教会堂の大谷石積の外壁にツタがからみ、大きなステインドグラスは威厳に満ち、格調高い。中央に王の冠を頂く「十字架」、左に預言者を現す「星」が、そして右に救い主を示す「茨の冠」があり、その上に愛の「薔薇」が描かれている。教堂に入ると正面に、光がさすステインドグラスの高窓が中央に二つ、教壇の左右の窓に美徳・復活を示す「谷間の白百合」が彩り美しく、気品高く心震える。教堂の空間は、安らぎと内省を促している。

# 日本基督教団 麻布の

# 安藤記念教会 軌跡

(元麻布二丁目14-16)



「谷間の白百合」ステインドグラス

## 波瀾万丈の人生

安藤太郎(1846-1924)は、幼少より漢学と蘭学を学んだ。(註1)幕府軍艦操練所の生徒になり、英学を横浜の宣教師ジェームス・バラに教えを受けた。(註2)慶応4年(1868)8月、榎本武揚等による箱館戦争に、安藤は見習二等士官(註3)として艦隊の「回天」に乗り組んだ。官軍との戦いで、明治2年5月榎本等が降伏、安藤等は五稜郭で囚徒となり、箱館の牢獄に入れられ丸一年禁固された。(註4)

安藤は、明治3年赦免され東京に、明治4年外務省、そして米欧回覧に岩倉具視特命全権大使の随行を命じられた。(註5)明治10年香港領事等を経て、ハワイ領事、更に外務省通商局長を経て、農商務省商工局長、明治30年4月官職を終えた。残りの人生は、キリスト教の布教と禁酒運動に活躍、明治23年「東京禁酒会」の会長になった。(註6)

## キリスト教との出会い

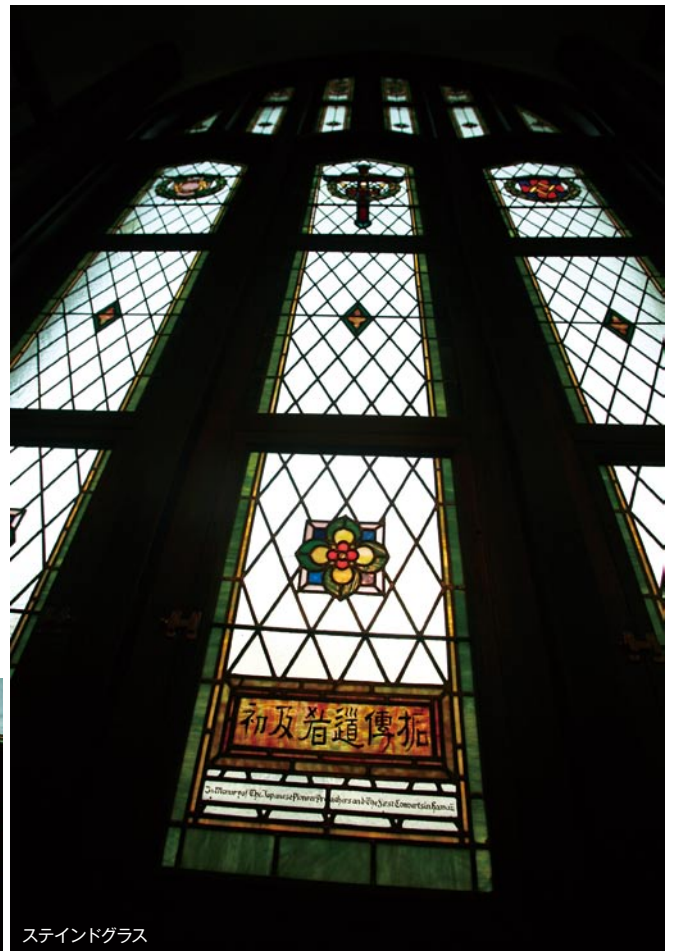
ハワイ領事時代、移民等の労働条件の改善に力を注ぎ、さらに、偶然、キリスト教美山貫一牧師の協力を得て、飲酒、けんか等で乱れた移民の生活の改善にも尽力した。(註7)酒豪



教壇



茨の冠 十字架 星



ステインドグラス



佐野 英二 牧師

の安藤も、酒で健康を害し、失敗する等、妻文子にも難儀をさせていた。このキリスト教との邂逅は、転機をもたらし、文子と共に伝道に心傾け、禁酒を誓い、夫妻で回心、明治21年7月ハワイで洗礼を受けた。(註8)

明治22年帰国後、米欧回覧に同行した女子留学生梅子の父、キリスト教徒で、禁酒運動をしていた津田仙(1837-1908)と横浜で会っている。(註10)

津田は慶応3年渡米に参加、アスパラガス等の西洋野菜、葡萄、オランダいちごの栽培等の普及に力を入れ、学農社農学校を設立、「農業雑誌」を創刊した。(註11)明治9年勝海舟の嫁クララがイチゴ狩りし、香り良い薔薇をもらった津田の農園は、麻布本村町178番地にあった。(註12)明治23年、安藤記念教会の所在地(旧麻布本村町22番地)の土地の購入(註13)と麻布居住は、津田との御縁であったと安藤記念教会の佐野牧師は指摘された。

## 安藤記念教会堂の建築

薔薇を愛し、絵を描く妻文子が、大正4年12月に亡くなると、生前の妻との約束で、教会堂建築のため全財産をなげうち、取り組んだ。(註14)

教会員の推薦で、設計は、後に鎌倉教会等を設計した建築家吉武長一(1879-1953)(註15)が担当し、施工者柏木菊吉で、教会堂は大谷石組積造、天然スレート葺である。大正6年4月11日着工、8月12日完成した。(註16)建築後、

大正12年の関東大震災で被災修復、他昨年の大谷石の一部積み替えまでに4回修復している。ステインドグラスは、アメリカで制作を学び、研修中に大聖堂のパイプオルガンの演奏とステインドグラスの窓が歌うという至福の喜びを感じた小川三知(1867-1928)が作製した。(註17)

## ステインドグラスに示された神の御心

安藤太郎の人生を始め、すべてが見えざる神の御手によって教会の創造に導かれた。

教会の入り口のステインドグラスの内側からしか見えない位置に、「布哇(ハワイ)日本人開拓伝道者及初回受洗者記念」の文字が書かれている。

ハワイの往還が生涯でいかに意義深く、心の救いになったかが良く分かるし、安藤太郎が神の御心に身をゆだね、永久の命をえた結晶がこの教会であると黙示している。

なお、安藤教会堂は港区歴史的建造物 NO. 123 に指定されている。

取材協力/安藤記念教会 佐野英二牧師

- (註1) 永田 基編「安藤太郎文集」p7 日本国民禁酒同盟  
(註2) 沼田 哲著「安藤太郎宛榎本武揚書翰」p49 青山史学第14号  
(註3) 飯久 保貞次旧蔵「安藤太郎関係文書目録」p34 青山学院資料センター 明治2年9月2日で箱館から函館に改名した。  
(註4) 永田 基編 前掲書 p7, p14  
(註5) 飯久 保貞次旧蔵 前掲書 p34  
(註6) 日本基督教団安藤記念教会「安藤先生略伝」p5  
(註7) 安藤記念教会70年史編纂委員会「安藤記念教会70年史」p13-14  
(註8) 安藤記念教会70年史編纂委員会 前掲書 p15, p19  
(註9) 安藤記念教会70年史編纂委員会 前掲書 p22  
(註10) 高崎 宗司「津田仙評伝」p105-106 草風館  
(註11) 高崎 宗司 前掲書 p41, p55  
(註12) ホイットニー・クララ著 一又 民子訳「クララの明治日記」p96 講談社 高崎 宗司 前掲書 p58  
(註13) 安藤記念教会70年史編纂委員会 前掲書 p27  
(註14) 安藤記念教会70年史編纂委員会 前掲書 p27-29, p33  
(註15) 藤森 照信「日本の近代建築 下」p58, 人名索引p9 岩波新書  
(註16) 安藤記念教会70年史編纂委員会 前掲書 p31-32  
(註17) 田辺 千代著 増田 彰久写真「小川三知の世界」p15-16 白揚社

(取材/湊 早苗、西野さつき、橋本明子、石山恒子、森 明文/橋本明子、石山恒子、森 明 タイトル/高橋 光)



## “早春の日々” *Living in AZABU*

あ～春の気配ですね。  
コートから開放されて。  
冬の色で表現したら、愛らしい淡い PINK だと思いませんか？

Valentine's Day が近づいて♡  
Dr. Mr Wonderful どうぞ私の夢をかなえて下さい♡♡

春の気分でチュールレースのショールを窓辺に飾ったり。  
壁ぎわとかね。

私は自分で作ったものが自慢で(!)、楽しんでいますわ。  
カフェオレボウルは KAWAii アイテムでしょう？  
みゆきさんは赤いモザイク模様のモロッコのものを持ってらっしゃる。すてき。うらやましいわね。

それから、かぎ針のドイリー。  
ちょっとレトロで、大切にしています。自分でも編んじゃうの。  
並べて“ウッフッフ”ーなんて。

春はクレープ(何故だかそんな気分)。  
メイプルシロップとかホームメイドのフルーツソースをそえて。  
春のサラダなんていうのも気分がのります。  
私達は(日本は)さくらの食材もあるから、いろいろ  
ニューアイデアのお料理やお菓子を create するんだわ、わたくし。

やわらかい春の風に誘われて、  
大好きな海辺の町へ出かけよう、大磯!!  
心の中で、あのお歌をくり返し乍ら。

“花開く春” が来ますように。

(イラストレーション・文/湊 早苗)

## 「麻布フェスタ 2008」を開催しました。



麻布地区総合支所では、麻布地区の安全・安心の啓発とコミュニティの活性化を目的として、11月9日(日)麻布地区総合支所一帯で「麻布フェスタ 2008」を開催しました。

「麻布フェスタ 2008」は麻布区民センター会場(安全・安心啓発会場)・港区立麻布保育園園庭会場(みんなの発表)・東洋英和女学院中上部中庭会場(体験コーナー)・鳥居坂会場(商店会、町会等の出店)の4会場で開催しました。

安全安心の啓発の一環として、科学警察研究所犯罪行動科学部長 原田 豊氏をお迎えし「まちの安全・安心」をテーマに講演会を開催しました。犯罪の防止には警察に頼るだけではなく防犯ボランティア団体のような地域活動が不可欠であること、防犯ボランティアが増えている地域では犯罪発生件数が減少しているとのお話がありました。

各会場では、麻布警察署・麻布消防署による、煙体験や消火器体験、白バイ試乗などの体験コーナーと麻布地区総合支所による、帰宅支援マップの作成、炊き出し訓練、保育園の園児による歌やダンス、児童館・福祉会館利用者による発表や、商店会・町会等による模擬店などのさまざまなイベントを開催しました。



当日は、肌寒い曇り空から雨に変わってあいにくの空模様でしたが、はしご車の試乗や、ピカチュウの登場で子ども達の元気で楽しそうな声があがっていました。

寒い中、たくさんのおみなさんにご出演、ご来店、ご来場をいただきありがとうございます。

麻布地区総合支所では、麻布フェスタをより大きなイベントとして定着させ、麻布地区の安全安心につなげられるよう、企画をしていきたいと考えています。

今後も皆様のご協力をお願いします。

## 「あざぶ達人倶楽部講座」参加者募集!

麻布地区の歴史や文化などに詳しい「まち」のコミュニティリーダー育成支援事業「麻布地区ものしり認定」試行版として実施します。ご参加の皆様からのご意見・ご要望を取り入れながら作り上げていく事業です。

### 第1回…「麻布ってどんなまち？」

麻布のまちの歴史について

日時/平成21年1月22日(木) 午後6時～8時30分  
場所/麻布地区総合支所 3階会議室

### 第2回…「ぐるっと麻布探検ウォーキング」

まち歩きの人々と麻布を巡ります。

日時/平成21年1月31日(土) 午後1時～4時30分

### 第3回…「麻布と外国」

在住外国人が麻布の魅力と問題点を語り合います。  
(その後ディスカッション)

日時/平成21年2月中旬 平日 午後6時～8時30分

**対象** 麻布地区在住、在勤、在学、麻布地区に興味のある方などなたでも

**会場** 麻布地区総合支所ほか

**費用** 無料

**定員** 各回 20人

**申し込み** 電話で1月20日(火)までに  
(詳細はお申し込み時にお知らせします。)

**お問い合わせ・申し込み**

麻布地区総合支所地区政策課  
電話/03-5114-8812



## 読者の皆さん、ご意見ください。

本紙記事の感想や取り上げてもらいたい情報など、何なりとお寄せください。より魅力的な紙面にするための参考にさせていただきます。



ご意見をお寄せいただいた方に麻布オリジナルグッズ「旧町名手ぬぐい」プレゼント!

「ザ・AZABU」では読者の皆様からのご意見・ご感想を募集しています。

ご住所・氏名・年齢・職業をご記入の上、下記までご応募ください。

●電話で.....03-5114-8811(月～金/9:00～17:00)

●ファックスで.....03-3583-3782

●郵送で.....〒106-8515 港区六本木 5-16-45 麻布地区総合支所「ザ・AZABU」編集室宛



# 麻布地区 総合支所だより

## 総合支所からの お知らせ

### 港区基本計画 [麻布地区版計画書(素案)]の 説明会を開催します。

麻布地区総合支所では平成19年度から2か年にわたり、港区基本計画[麻布地区版計画書]の策定を公募による区民参画組織により進めてきました。

このたび、港区基本計画[麻布地区版計画書(素案)]がまとまりましたので、区民の皆様への説明会を開催いたします。

なお、縦覧期間内に、みなさまのご意見をお寄せください。

**日時・会場①**  
平成21年1月17日(土) 午後2時～3時30分  
本村福祉会館

**日時・会場②**  
平成21年1月19日(月) 午後6時30分～8時  
麻布地区総合支所2階  
生活衛生センター講堂

#### 縦覧期間

平成21年1月13日(火)から平成21年1月28日(水)

#### 縦覧場所

麻布地区総合支所地区政策課

#### 意見提出先

麻布地区総合支所地区政策課

(詳しくは地区政策課までご連絡ください)

**お問い合わせ**／麻布地区総合支所地区政策課  
電話／03-5114-8812

## 東京税理士会麻布支部 からののお知らせ

### 税理士記念日を記念して 「税の無料相談会」を 開催いたします。

**日時**／平成21年2月19日(木)  
午前10:00～午後4:00

**会場**／赤坂見附駅  
ベルビー赤坂前コンコース

**内容**／延べ11名の麻布支部会員税理士が無料にて税についての相談をお受けいたします。

※所得税確定申告の相談にも応じます。

**お問い合わせ**／東京税理士会麻布支部事務局  
電話／03-3404-2886

**担当者**／業務対策部長大平栄司

## 麻布警察署からの お知らせ

### 騙されないで! こんな電話は詐欺です!

「税務署ですが、税金の還付金があります。コンビニに行って電話をしてください。」など、このような電話が来たら、最寄りの警察署に相談するか、110番通報してください。

#### 被害にあわないために

- 現金自動預け払機(ATM)での操作を求める電話や手紙は、「詐欺だ」と考え、相手に連絡しない。
- 「税の還付金がある」との言葉を鵜呑みにせず、まず地元の税務署にもう一度問い合わせましょう。
- 現在は「オレオレ詐欺」が主流ですが、確定申告時期を控えて「還付金詐欺」の増加が懸念されます。十分にご注意ください。
- この他にも、医療費の還付を口実にする場合もありますので、注意してください。

警視庁では、犯罪の被害にあわれた方やご家族の方の、いろいろな悩みや相談に応じるため電話相談を行っています。



#### 被害にあったら

- 捜査や裁判はどのように進み、犯人はどのような手続きで処罰されるのか。
- 捜査上、被害者やご家族にどのようなお願いをすることになるのか。
- 利用できる制度や、関係機関・団体はどのようなものがあるのか、などについて犯罪被害者ホットラインをご利用ください。

#### 犯罪被害者ホットライン

もう一度あなたの笑顔を見たいから  
～相談してみませんか～

電話／03-3597-7830

午前8時30分～午後5時15分まで

(土・日・祝日を除く)

FAX／03-3592-6840

**お問い合わせ**／麻布警察署

電話／03-3479-0110

## 港都税事務所からの お知らせ

### 23区内に土地をお持ちの方へ 住宅用地(23区内)の 申告はお済みですか?

#### 住宅用地とは

住宅の敷地として利用されている土地

#### 申告が必要な場合

- 住宅を新築・増築した場合
- 住宅の全部または一部を取り壊した場合
- 住宅を建て替える場合
- 家屋の全部または一部の用途(利用状況)を変更した場合
- 土地の用途(利用状況)を変更した場合
- 住宅が災害等の事由により滅失・損壊した場合

**申告方法** 「固定資産税の住宅用地等申告書」に必要事項をご記入のうえ、

土地が所在する区にある都税事務所の土地係に提出してください。

**申告期限** 平成21年2月2日(月)

**お問い合わせ**／港都税事務所

電話／03-3453-3211(代)



## 麻布税務署からの お知らせ

### 申告書はご自分で書いて、 提出はお早めに。

平成20年分の申告の税務署窓口での  
**相談、申告書の提出及び納付**は

#### 所得税

平成21年2月16日(月)～3月16日(月)

#### 贈与税

平成21年2月2日(月)～3月16日(月)

#### 個人事業者の消費税及び地方消費税

平成21年1月5日(月)～3月31日(火)  
までです。

税務署では、閉庁日(12月29日～1月3日、土曜日、日曜日及び祝日)の相談及び申告書の受付は行っていませんが、申告書はe-Taxや郵便又は信書便による送付、税務署の時間外文書収受箱に投函することで提出できます。

### 納税には、 振替納税をご利用ください。

平成20年確定申告分の**振替納付日**は

#### 所得税

平成21年4月22日(水)

#### 個人事業者の消費税及び地方消費税

平成21年4月27日(月)です。

ご希望の方は、税務署の管理部門へお尋ねください。

**所得税の確定申告は  
e-Tax(イータックス)を  
ご利用ください。**

#### ●国税庁ホームページから電子申告

自宅から国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」を利用して、e-Taxに送信することができます。

#### ●最高5,000円の税額控除

平成20年分の所得税の確定申告を本人の電子署名及び電子証明書を付して、申告期限内にe-Taxで行うと、所得税額から最高5,000円の控除を受けることができます(平成19年分の確定申告で本控除の適用を受けた方は受けられません)。

#### ●添付書類を提出省略

所得税の確定申告をe-Taxで行う場合、医療費の領収書や源泉徴収票等は、その記載内容を入力して送信することにより、提出又は提示を省略できます(確定申告期限から3年間、書類の提出又は提示を求められることがあります)。

#### ●還付金がスピーディー

e-Taxで申告された還付申告は早期処理しています(3週間程度に短縮)。

※申告書の作成を税理士に依頼される際には、にせ税理士にご注意ください。

※麻布税務署の駐車場は狭いので、お車での来署はご遠慮ください。

**お問い合わせ**／麻布税務署

電話／03-3403-0591

**国税庁ホームページ**

<http://www.nta.go.jp>

**e-Tax ホームページ**

<http://www.e-tax.nta.go.jp>

## 編集後記

麻布にある写真館。毎年毎年、いろいろな家族が写真を撮りに来るそうだ。近隣の方だけでなく、遠方からもやって来る。家でもデジカメで簡単にプリントできる時代に、わざわざ着飾って写真館に行く習慣。昔はよく見られたが、最近でもまた見直されているらしい。日常の表情を切り取るのではなく、カメラに向かっていく非日常的な一枚の写真。一年間を代表する家族のフォーマルな感じが後から見ると面白いのかもしれない。

(尾崎恭彦)

## 「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽にお問い合わせください。  
年中無休/午前7時～午後11時 ※英語での対応もいたします。

電話／03-5472-3710 ファックス／03-5777-8752

Eメール／[info@minato.call-center.jp](mailto:info@minato.call-center.jp)

“Minato Call” information service

Minato call is a new city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.  
Visit Minato Call at Tel.: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: [info@minato.call-center.jp](mailto:info@minato.call-center.jp)

## AZABU

●配布設置場所ご案内  
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、麻布福祉会館、西麻布福祉会館、飯倉福祉会館、本村福祉会館、大平台みなと荘、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

Chief 尾崎恭彦  
Sub Chief 伊東みゆき  
Staff 石山恒子 加藤智恵 橋本明子  
伊藤志織 金子成一 湊 早苗  
石橋千恵子 鈴木敏江 森 明  
大村公美子 高橋 光 山下良蔵  
岡野真由美 西野さつき  
Junior Staff 石山 茜 鈴木大智  
大村 響



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めています。